

令和8年度近畿地方資源循環自治体フォーラム 第二部 個別テーマセッション 登壇者および講演内容一覧

テーマ	団体名	登壇者(敬称略)	講演タイトル	講演内容概要
プラ回収・再商品化の推進	豊中市	環境部減量計画課 課長 小林 和正	豊中・つなぐ、めぐる、プロジェクト ～都市型地域循環共生圏に向けて～	製品プラスチック資源循環の社会実装に向けて本市が抱える課題と解決のために描くビジョンや今後の方向性、事業者との連携と市民に根付かせるための環境教育も含めた施策展開について
	神戸プラスチックネクスト つめかえバックリサイクルプロジェクトチーム	花王株式会社 研究開発部門 研究戦略・企画部 田川 直史	自治体と業界横断の協働で挑むつめかえバック水平リサイクル ～神戸市実証5年間の成果と今後の展望～	神戸市と製造・販売・回収・再生に関わる企業・団体が業界横断で連携し、市民とともに取り組んできたつめかえバックの水平リサイクル実証について、5年間の成果と課題を振り返るとともに、今後の展望を参画する日用品メーカーの視点から紹介します。
		小林製菓株式会社 コーポレート戦略本部 経営企画部 上田 祐実		
	TOPPAN株式会社	生活・産業BU 製造・技術統括本部 SXパッケージ開発本部 主席研究員 藤井 崇	TOPPAN サークュラーエコノミーの取組み	環境問題をはじめとするさまざまな社会課題が顕在化するなか、持続可能な社会の実現に向けて、国・企業・生活者においてさまざまな取組みが行われている。パッケージを通した循環型社会の実現に向けたTOPPANの取組みを紹介する。
	株式会社近江物産	代表取締役会長 芝原 茂樹	サーキュラーエコノミーへの取組が加速 自動車向け再生プラスチック安定供給体制	「資源循環は国家戦略」の時代、弊社は国内循環を基本に自社完結の回収・商品化を行っています。産官学連携での開発力と、ものづくり企業として、自動車向け再生プラスチックの品質・安定供給体制を構築をすすめています。
LiBの回収・発火防止・再資源化の推進	神戸市	環境局資源循環課 係長 西田 浩之	神戸市のLi-b回収・処理方法の現状	神戸市では、2024年から「電池類回収ボックス」を設置し、乾電池等とあわせてリチウムイオン電池の回収を行っています。「電池類回収ボックス」の運用状況や回収量など、Li-b回収の現状と火災対策など今後の課題を報告いたします。
	日本リサイクルセンター株式会社	代表取締役 増田 耕一	リチウムイオン電池再資源化事業の取組みについて	リチウムイオン電池（LiB）の回収分別から再資源化までを一貫して手がける日本リサイクルセンターの取組みを紹介します。LiBの処理フローや火災リスクへの安全対策、そして今後も需要拡大が見込まれるLiBリサイクルの展望まで、実務に基づいた事例をお伝えします。
	大栄環境株式会社	技術部 研究開発課 課長 橋本 康司	小型充電式電子機器に含まれるリチウムイオン電池等回収事業について	小型充電式電子機器を対象とした解体選別プラントを整備し、内蔵するリチウムイオン電池を安全かつ効率的に回収する事業を計画しています。従来の人手による解体や焼却処理に代わる方法を導入することによりリチウムイオン電池等のリサイクルを推進します。
	JX金属サーキュラーソリューションズ株式会社	LiBリサイクル事業部 事業部長 五十峯 大介	JX金属グループにおけるLiBリサイクルへの取り組み	EV普及に伴い重要性が高まるLiB（リチウムイオン電池）リサイクルについて、JX金属グループの技術開発・事業化の取組みを紹介します。あわせて、クローズドループリサイクル実現に向けた技術的・事業的課題や、資源循環社会の実現に向けた今後の展望について解説します。
サステナブルファッションの推進	大阪府およびエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 （サステナブルファッション・プラットフォーム協議会）	環境農林水産部 循環型社会推進室 資源循環課 課長補佐 梅本 敬史	サステナブルファッション・プラットフォーム協議会の取組について	大阪府及びエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社は、民間企業・府内自治体と共同で「サステナブルファッション・プラットフォーム協議会」を設立し、使用済衣類のリユース・リサイクルにより、衣類の地域共創型サーキュラーエコノミーの実現をめざし取り組んでいます。
		経営企画グループ サステナビリティ推進室 室長 西田 哲也		
	アイトス株式会社	代表取締役 伊藤 崇行	A0ZORAプロジェクトとサスティナブルへの取組	アイトスはエコ素材や製品回収「アイトス×BRING」、循環型リサイクル、単一素材開発などを推進。全環境活動を「A0ZORAプロジェクト」として展開し、カーボンフットプリント開示など持続可能な社会づくりに取り組んでいます。
	帝人フロンティア株式会社	参与 サステナビリティ管掌 重村 幸弘	繊維to繊維の資源循環の構築を目指して	廃棄衣料の大部分が廃棄・焼却されており、衣料品の大部分を占める複合繊維の繊維to繊維リサイクル技術も確立されていない。衣料品の資源循環確立のための技術開発について述べる。
	倉敷紡績株式会社	執行役員 技術部 部長 山内 一平	L∞PLUS（ループラス）を活用したマテリアルリサイクルの推進	循環型社会の共創へ向けて、L∞PLUSを基軸に様々なステークホルダーが連携・参加することで、真の意味での循環型社会を作り出すこと。それが、クラブウがこの社会課題解決型の取り組みを通して生み出す、なによりも代えがたい付加価値だと考えています。